

会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 28 年度 佐渡市特別職報酬等審議会
開催日時	平成 28 年 11 月 25 日 (金) 13 時 55 分開会 15 時 42 分閉会
場所	佐渡市役所 会議室棟 1 階 第 2 会議室
議題	(1)市議会の議員の議員報酬の額 (2)市長及び副市長の給料の額 (3)市議会の会派及び議員の政務活動費の額 (4)特別職の 12 月期末手当の支給月数の改正
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	非公開 (佐渡市情報公開条例第 7 条第 5 号に該当するため)
出席者	委員 会 長 本間 進治 会長職務代理者 石井 裕子 委 員 丸山 憲一 (金融機関代表) 委 員 渡邊 武司 (商工業代表) 委 員 藤崎 一郎 (建設業代表) 委 員 氏江 亮 委 員 加藤マサエ 委 員 中川奈保子 委 員 羽生 満枝  事務局 総務課 課 長 渡邊 裕次 課 長 補 佐 甲斐由紀夫 人 事 係 長 柳澤 正二 人 事 係 調 査 員 桑崎 徳彰 人 事 係 主 任 磯野 靖行
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
本間会長	委嘱状交付～事務局・委員自己紹介～会長選任 会長あいさつ～会長職務代理者指定
石井会長職務代理者	会長職務代理者あいさつ
三浦市長	諮問
本間会長 事務局桑崎調査員 丸山委員	審議会開会 会議資料説明 平成 27 年度は議員の報酬を上げるよう答申したが、条例改正の提案を行わなかった理由は何か。
事務局渡邊課長	3 月議会に条例改正の提案を行うよう全員協議会に説明した。 議員の報酬等については、上げる必要はないと議会から話があり、結果的にその条例改正の提案を行わなかった。
羽生委員 事務局渡邊課長	平成 20 年度の副市長給料改定率が-10.0%と大きい理由は何か。 次回回答する。
藤崎委員	(1)市議会の議員の議員報酬の額 合併時は議員が多いため、他市の下の方の額に合わせて決定した経緯がある。その後、経済状況が悪い状況が続き据置きが続いてきた。今も経済状況はよくないが定数減もあり、少しは報酬を上げてはどうか。
丸山委員	今年についても昨年分くらいは上げて、頑張ってもらいたいという気持ちを受け取ってもらいたい。
中川委員	議員が報酬をこんなにもらっていると知り、驚いた。 報酬を上げてやる気になればいいが、上がったからもういいでは困る。月 26 万円という報酬の価値があるか疑問だ。
事務局渡邊課長	今の意見は議員がどんな活動をしているかわからないということだ と思う。本会議はケーブルテレビで見ることができる。 本会議以外にも常任委員会や全員協議会など頻繁に会議が行われ、4 月以降新しい議会構成体制ではこれまで以上に開催回数が増えているようだ。
氏江委員	24 人から 22 人に定数が減って、その分仕事が増えて大変だが、正

事務局渡邊課長	<p>しい数字に戻っただけ。そこを取り上げて 2 人分の報酬を増額に回すのは違う。しかしながら市長・副市長が昨年度の答申で上がったのであれば、議員が上がってもいいのではないか。</p> <p>定数が 22 人になったばかりだが、4 年後を見据えて議会自ら議会改革特別委員会を設置し、さらに定数の削減を検討している。色々な意見があり、まとまっていないが来年 1 月頃には方向性が見えてくると思う。</p>
石井会長職務代理者	<p>市長・副市長と同じように 0.3%上げて、責任ある立場としてやるべきことをやってもらう。責務に対する報酬は支払われていいのではないか。</p>
加藤委員	<p>800 円くらいであれば上げなくてもいい。定数が 22 人から 20 人に減った時点で少し上げるようなことを考えてもいいのではないか。議員がどんな仕事をしているかわからない。</p>
羽生委員	<p>どちらかと言われると難しい部分がある。上げてやる気を出させたいが、市民の実態の生活を考えるとはっきり言えない。</p>
藤崎委員	<p>県内で何番目かというデータも参考にしながら決めていく必要がある。</p>
事務局渡邊課長 事務局甲斐補佐	<p>類似団体、県内他市の平成 28 年度審議会開催状況の説明</p> <p>今年の市議会議員選挙での新人議員 5 人について、20 歳代が 1 人、30 歳代が 3 人、50 歳代が 1 人と若い人たちが出ている実態がある。こういう人たちの活躍の場という視点でも考えていただきたい。</p>
本間会長	<p>拠り所は類似団体や県内 20 市での位置づけかと思う。</p> <p>方向性として 0.3%引上げでどうか。議員にとってはわずかという意見があるかもしれないが、行政運営上、市長・副市長と同じような考え方をすべきと思うがどうか。</p>
羽生委員	<p>報酬を上げて頑張ってもらいたい。</p>
本間会長	<p>今日結論を出さなくてもいい。事務局には次回他市の状況等の具体的な数字を示してもらい参考にしたい。議員報酬については市長・副市長と同じ率に戻すという方向でこの場は示しておきたい。</p>
氏江委員	<p>(2)市長及び副市長の給料の額</p> <p>引き上げて最下位を脱出させたいとは思いますが、市民が苦しい状況で市長だけ最下位から 2 番目に上がってくださいと今は言える状況ではない。</p>
中川委員	<p>市長・副市長の給料を上げると議員の報酬も上げることになる。毎年上げなくてもいいと思うので、今年は据置きでいいと思う。</p>
石井会長職務代理者	<p>佐渡市のリーダー・サブリーダーであり重責を担っているのだから上げたいが、財政が非常に大変ということだから、議員と足並</p>

藤崎委員	みが揃うのなら据置きでいい。
事務局渡邊課長	これまでの経緯で市長の給料が下がったのは自分たちの申出によるものか。
渡邊委員	公務上の不祥事があり、管理責任として自ら 20%減額した。
加藤委員	今回は据置きでいいのではないか。
本間会長	昨年上げたばかりなので今年は据置きでいい。 市長・副市長の給料は据置きという方向でこの場は示しておきたい。
渡邊委員	(3)市議会の会派及び議員の政務活動費の額 8000 円から 1 万円に上げたのは、それまで県下最低の水準だったのを、「これくらい出して頑張ってもらおう」「一生懸命勉強してもらおう」という意味で平成 22 年度に上げたものだ。その後は据置きになっている。今回も据置きでいいのではないか。
本間会長	政務活動費については月額 1 万円で据置きという方向でこの場は示しておきたい。
事務局桑崎調査員	(4)特別職の 12 月期末手当の支給月数の改正 追加資料 1 説明。
本間会長	新潟市は独自に人事委員会を持っているので他市とは手続が違うが、新潟市を除く 18 市に確認したところ、国の改正どおり 0.1 月の増額を 12 月議会に提案する予定と確認している。
藤崎委員	議員について、単純に今の月数に 0.1 月増で改正するか、昨年上がっていない分を含めるべきか。
本間会長	昨年度上がっていない月数を今回に持ってくるのは変な話だ。今の月数をベースにするべき。
藤崎委員	議員の期末手当の支給月数は今のものをベースにするとして、0.1 月は人勸で上げざるを得ないと思う。
本間会長	昨年度引き上げで答申したが、議員がその 0.05 月の増額改正を辞退したわけだから、気を使う必要はない。
事務局甲斐補佐	本日提案された議件 4 件について、ある程度の協議ができた。
本間会長	結論を出すために 1 月頃に再度招集する。
事務局甲斐補佐	期末手当 0.1 月について再確認をしてほしい。
本間会長	人勸準拠で議員・市長・副市長の全てで 0.1 月増額に改正するという方向ということ。
事務局甲斐補佐	議員については昨年上がらなかった分はそのまま 0.1 月分増額で改正する。 今回の会議での意見として、国の特別職の人勸に準じて期末手当 0.1 月の引き上げと確定してよいか。

<p>本間会長        複数の委員        事務局甲斐補佐</p>	<p>それでよいか。        (よい)        この意見に基づいて特別職の期末手当については 0.1 月引上げの議案を 12 月議会に追加提案する。</p>
<p>本間会長        事務局渡邊課長</p>	<p>審議会閉会のあいさつ        今日、4 項目について委員の方々のある程度の考えを確認した。今回は、細かい数字などを提示したい。        追加資料 1 にあるように来年 1 月に県内他市のほとんどが審議会の開催を予定しているので、その状況と佐渡市の議会改革特別委員会の議員定数の削減の動向が見えそうな段階、つまり 1 月下旬頃に再度会議を招集したい。今後、何らかの状況が変われば別だが、今の方向性に沿って資料を作ることとしたい。</p>